

～千里ライフサイエンス新適塾～

「脳は面白い」第 50 回会合

『アルツハイマー病：分子病態から治療薬へ』

講 師： 岩坪 威（いわつぼ たけし）

国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 所長

日 時： 2025 年 8 月 22 日（金） 17:30～20:00

会 場： 千里ライフサイエンスセンタービル

講演会： 17:30～19:00 6階千里ルーム A (WEB 配信併用)

懇親会： 19:00～20:00 5階 Port5

懇親会を予定しております。**是非会場にお越しください。**

参加費： 講演会、懇親会とも無料

1. 参加登録 事前申込のみとします。（締切:2025 年 8 月 19 日（火）17 時）
2. 募集定員 会場参加 80 名、オンライン参加 200 名
3. 参加希望者は、当財団ホームページの「参加申込・受付フォーム」からお申し込み下さい。 URL: <https://www.senri-life.or.jp/>
4. オンライン参加登録者には開催日の前日までに参加方法をお知らせします。

* オンデマンド配信は予定しておりません。

コーディネーター: 古川 貴久（大阪大学 蛋白質研究所 教授）

山本 亘彦（大阪大学 名誉教授）

主 催： 千里ライフサイエンス振興財団

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1丁目4番2号
千里ライフサイエンスセンタービル20階E-mail : ono-2024@senri-life.or.jp TEL : 06-6873-2006WEBSITE: <https://www.senri-life.or.jp>

新適塾「脳はおもしろい」第 50 回

『アルツハイマー病：分子病態から治療薬へ』

岩坪 威 (いわつぼ たけし)

国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 所長

講演要旨

アルツハイマー病(AD) 脳の細胞外腔に蓄積するアミロイド β (A β)は、大脳皮質の神経細胞脱落、記憶障害などの認知機能障害の原因と考えられている。従来の AD 治療薬は神経細胞脱落により不足した伝達物質を補う症候改善薬のみであったが、神経細胞が失われるメカニズムを標的とする疾患修飾薬が開発され始めた。中でも抗アミロイド β (A β)抗体薬は、日常生活に支障を来すレベルの認知症症状が現れる早期において、臨床症状の進行を 18 ヶ月間で 30%前後遅らせる効果を示した[1]。しかし抗 A β 抗体薬は、ARIA という特有の副作用を生じることがあり、2023 年から実用化されたレカネマブの治験においても ARIA-E(浮腫)が 12.6%、ARIA-H(微小出血)が 17.3%に出現している[1]。ARIA は APOE 遺伝子の ϵ 4 アレルをホモで保有する人(AD の十数%に相当)では発生率が 32.6%と増加することから、米国では投与前に APOE 遺伝子型の検査が推奨されている。しかし本邦では APOE 遺伝子型検査の臨床実用はいまだ準備段階にあり、抗 A β 抗体薬の安全使用のために、投与された全例を対象とする「製造販売後調査」を実施するとともに、アカデミアが大規模な登録研究「アルツハイマー病疾患修飾薬全国臨床レジストリ」を行い、効果と安全性に関する情報を集め、薬剤の有効で安全な使用が図られている。さらに最近、AD の病変を早期から検知可能な血液バイオマーカーが長足の進歩を遂げている[2]。本講演では AD の病態に基づく治療法開発の現状と将来について議論したい。

参考文献

- [1] van Dyck CH, Swanson CJ, Aisen P, Bateman R, Chen C, Gee M, Kanekiyo M, Li D, Reyderman L, Cohen S, Froelich L, Katayama S, Sabbagh M, Vellas B, Watson D, Dhadda S, Irizarry M, Kramer LD, Iwatsubo T: Lecanemab in early Alzheimer's disease. *N Engl J Med* 388:9-21, 2023
- [2] Niimi Y, Janelidze S, Sato K, Tomita N, Tsukamoto T, Kato T, Yoshiyama K, Kowa H, Iwata A, Ihara R, Suzuki K, Kasuga K, Ikeuchi T, Ishii K, Ito K, Nakamura A, Senda, M, Day TA, Burnham S, Iaccarino L, Pontecorvo M, Hansson O, Iwatsubo T: Combining plasma A β and p-tau217 improves detection of brain amyloid in non-demented elderly. *Alzherimers Res Ther* 16:115, 2024

講師略歴

昭和 59 年 東京大学医学部卒
昭和 61 年 東京大学医学部附属病院神経内科入局
平成 10 年 東京大学大学院薬学系研究科 臨床薬学教室教授
平成 19 年 東京大学大学院医学系研究科 神経病理学分野教授(令和 7 年 3 月まで)
令和 2 年 国立精神・神経医療研究センター神経研究所所長、日本認知症学会理事長
現在に至る